

〇〇支援学校 中学部 2年A組 生活単元学習指導案

日 時 令和〇年〇月〇日〇:〇〇~〇:〇〇

場 所 中学部2年A組 教室

指導者 〇〇 〇〇(T1)

〇〇 〇〇(T2)

## 1 単元名「みんなで楽しもう！ 校外学習(科学館)」

※合わせた主な教科及び参考資料:理科 ☆☆☆☆ 1 自然の観察 文部科学省  
社会 ☆☆☆☆ 2 私たちの暮らし 文部科学省

## 2 単元設定の理由

### (1) 生徒の実態[2年A組・4名]

中学部2年A組4名は、男子3名、女子1名で構成され、全員が知的障害を有している。そのうち3名は自閉スペクトラム症や病弱を併せ有する生徒である。生徒全員、発語はあるものの、言葉を介してのやり取りは可能な生徒から絵カードなどを用いて理解を促す生徒がいるなどコミュニケーションの実態は様々である。学級内での人間関係は良好ではあるものの、それぞれ興味関心のあることが違っており、共通の話題等を見つけて話すことはなかなか難しい。

生徒たちは小学部で、宿泊学習や校外学習をそれぞれ経験してきている。理科の学習に関しては、小学部生活科「サ 生命・自然」の3段階の学習内容として、身近にいる昆虫や草花などに関わる学習を経験してきている。社会科の学習に関しては、小学部生活科「ケ きまり」「コ 社会の仕組みと公共施設」の3段階の学習内容として主に学校の集団生活上のきまりや公共施設について体験を通して学習してきている。

### (2) 単元観

本単元は、理科及び社会科で育てたい資質能力を育成するに当たり、主に特別支援学校中学部学習指導要領の各教科の目標・内容を受けて設定している。

中学部 理科 1段階 目標 A 生命

ア 身の回りの生物の様子について気付き、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。

イ 身の回りの生物の様子から、主に差異点や共通点に気付き、疑問をもつ力を養う。

ウ 身の回りの生物の様子について進んで調べ、生物を愛護する態度や学んだことを日常生活などに生かそうとする態度を養う。

中学部 理科 1段階 内容 A 生命

【知識及び技能】ア 身の回りの生物(ア)㊦ 生物は、色、形、大きさなど、姿に違いがあること。

【思考力、判断力、表現力等】ア 身の回りの生物(イ) 身の回りの生物について調べる中で、差異点や共通点に気付き、生物の姿について疑問をもち、表現すること。

中学部 社会科 1段階 目標

ア 身近な地域や市町村の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動、地域の産業と消費生活の様子及び身近な地域の様子の移り変わり並びに社会生活に必要なきまり、公共施設の役割及び外国の様子について、具体的な活動や体験を通して、自分との関わりが分かるとともに、調べまどめる技能を身に付けるようにする。

イ 社会的事象について、自分の生活や地域社会と関連付けて具体的に考えたことを表現する基礎的な力を養う。

ウ 身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚を養う。

中学部 社会科 1段階 内容

**【知識及び技能】**

ア 社会参加ときまり(イ)⑦ 家庭や学校でのきまりを知り、生活の中でそれを守ることの大切さが分かること。  
イ 公共施設と制度(ア)⑦ 身近な公共施設や公共物の役割が分かること。

**【思考力、判断力、表現力等】**

ア 社会参加ときまり(イ)⑧ 社会生活ときまりとの関連を考え、表現すること。  
イ 公共施設と制度(ア)⑧ 公共施設や公共物について調べ、それらの役割を考え、表現すること。

本単元では、科学館という多くの市民が利用している施設について、場所を調べたり、実際に見学に行ったりするなどして、自分の生活と関連付けて考え、今後他の施設なども利用しようとする態度を育てていきたい。また、社会科I段階「ア社会参加ときまり」の内容は既習事項ではあるが、学習を進める中で必要な学習内容のため、繰り返し、意識しながら指導するために取り上げている。理科の内容としては、実際にいろいろな生物の標本を観察することで、その違いや共通点に気付かせていきたい。この2点を教科の主なねらいとして、本単元を設定した。

**(3) 指導観**

指導に当たっては、生徒が興味をもてる視覚的資料を用いながら指導に当たる。特に、事前学習では、下見に行った際に撮った写真を基に作成した科学館の紹介動画を用いて、何度も視聴できるようにし、校外学習のイメージを持たせる。そして、活動内容を選んだり、学習場所について調べたりする学習につなげたい。この際、個々の力に応じてタブレット端末や、インターネットを活用し、主体的に学習に取り組ませたい。また、学級全体の課題として関わり合いの少なさが挙げられる。その課題解決に向け、学習したことを模造紙に表し、みんなで協力してオリジナルの絵図を作り上げる経験を積ませたい。教員の指導体制については、T1、T2が主に関わる生徒を設定しながらも、生徒の様子に応じて臨機応変に対応していく。

**3 単元の目標**

教科	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
理科	生物は、色、形、大きさなど、姿に違いがあることを理解する。	身の回りの生物について調べ、差異点や共通点に気付く、生物の姿について疑問をもち、表現することができる。	身の回りの生物の様子について進んで調べ、生物を愛護する態度や学んだことを日常生活などに生かそうとしている。
社会	身近な公共施設や公共物の役割が分かる。	公共施設や公共物について調べ、それらの役割を考え、表現することができる。	身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについて自覚しようとしている。

**4 単元の指導と評価の計画**

**(1) 単元の評価規準**

教科	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
理科	生物は、色、形、大きさなど、姿に違いがあることを理解している。	身の回りの生物について調べ、差異点や共通点に気付く、生物の姿について疑問をもち、表現している。	身の回りの生物の様子について進んで調べ、生物を愛護する態度や学んだことを日常生活などに生かそうとしている。
社会	身近な公共施設や公共物の役割を分かっている。	公共施設や公共物について調べ、それらの役割を考え、表現している。	身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚しようとしている。

(2) 単元の指導と評価の計画(8時間扱い 本時1/8)

次	小单元名		時数	学習活動	評価規準			扱う教科の内容
					知・技	思・判・表	主	
1	レッツゴー 科学館	2 本時 1/2	<ul style="list-style-type: none"> <li>科学館の紹介動画を見る。</li> <li>校外学習の場所などについて調べる。</li> <li>調べたことを発表する。</li> </ul>	・			理科【知・技】ア(ア)㊦ 生物の色、形、大きさの違い	
				・	●		社会【知・技】イ(ア)㊦ 公共施設や公共物の役割 社会【思・判・表】イ(ア)㊦ 調べたことを表現する	
2	事前学習	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>校外学習の活動内容を確認する。</li> </ul>	・		●	理科【知・技】ア(ア)㊦ 生物の色、形、大きさの違い 社会【知・技】イ(ア)㊦ 公共施設や公共物の役割	
3		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>紹介動画を見ながら科学館でのマナーについて確認する。</li> <li>乗り物や公共施設でのマナーについて確認する。</li> </ul>		○		理科【思・判・表】ア(イ) 生物の差異点や共通点を表現 社会【思・判・表】ア(イ)㊦ 社会生活のきまりとの関連	
4	事後学習	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>校外学習の様子を写真で振り返る。</li> <li>科学館がどんなところであったか考える。</li> </ul>	●		・	理科【知・技】ア(ア)㊦ 生物の色、形、大きさの違い 社会【思・判・表】イ(ア)㊦ 調べ、役割を考え、表現する	
5		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>模造紙に「見方の森」で撮ってきた写真を並べ、差異点や共通点についてまとめる。</li> <li>前時で考えた科学館の役割について事前学習で制作した模造紙に書き込む。</li> </ul>	・	○		理科【知・技】ア(ア)㊦ 生物の色、形、大きさの違い 理科【思・判・表】ア(イ) 生物の差異点や共通点を表現 社会【知・技】イ(ア)㊦ 公共施設や公共物の役割	

※ ○：記録に残す評価 ●：指導に生かす評価(重点) ・：指導に生かす評価(通常の評価)

5 単元の個別の目標

	教科	単元の個別の目標		
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力	学びに向かう力、人間性等
生徒A	理科	身の回りの生物には、色、形、大きさなどに違いがあることを理解する。	身の回りの生物を調べ、その違いについて表現することができる。	身の回りの生物を進んで調べ、日常の中でも学習を生かそうとする。
	社会	科学館について調べ、場所や役割などについて分かる。	科学館について調べ、役割などについて考え、表現することができる。	科学館以外の公共施設に興味をもとうとする。
生徒B	理科	身の回りの生物には、違いがあることを理解する。	身の回りの生物を調べ、その違いについて表現しようとする。	身の回りの生物を進んで調べ、日常の中でも学習を生かそうとする。
	社会	科学館に興味をもち、場所について調べることができる。	科学館の役割について調べ、表現しようとする。	科学館に興味をもち、自ら関わろうとする。

生徒C	理科	身の回りの生物について興味をもつことができる。	教師と一緒に身の回りの生物に興味をもって調べることができる。	身の回りの生物を教師と一緒に調べようとする。
	社会	科学館について興味をもって調べることができる。	教師と一緒に科学館について調べようとする。	教師と一緒に科学館での学習に意欲的に取り組もうとする。
生徒D	理科	写真などの視覚的資料を通して、生物について興味をもつことができる。	教師と一緒に身の回りの生物に興味をもって調べることができる。	身の回りの生物を教師と一緒に調べようとする。
	社会	科学館などの公共施設に興味をもつことができる。	教師と一緒に科学館について調べようとする。	教師と一緒に科学館での学習に意欲的に取り組もうとする。

## 6 本時の計画

### (1) 小単元名「レッツゴー 科学館」

### (2) 本時の目標

- ①【理科】身の回りの生物には色、形、大きさなど、姿に違いがあることを知る。[知識及び技能]
- ②【社会】科学館について調べ、その役割や場所が分かる。[知識及び技能]

### (3) 本時の指導に当たって

本時の指導に当たっては以下の手立てを講じていく。

- ・興味関心が喚起されるよう視覚的資料を活用する。
- ・調べ学習では主体的に取り組めるよう、個の実態に応じてタブレット端末やインターネットを活用したり、写真や絵を用いたりする。
- ・校外学習の場所である科学館への行き方を調べ、興味関心がもてるよう地下鉄の乗り方についても学習する。

### (4) 生徒の実態と個別の目標及び評価

	生徒の実態	本時の個別の目標	手立て	評価
生徒A	・興味をもって取り組もうとするが、集中する時間が限られる。好きな活動に対しては意欲的である。 ・鉄道が好きで、公共施設を利用しようとする。	①身の回りの生物には色や形や大きさに違いがあることを知る。 ②科学館の役割や場所について分かる。	①教科書を参考資料として使用し、写真から分かる情報を発表させる。 ②科学館の場所や役割についてインターネットを活用して調べる。	①身の回りの生物には、色や形や大きさに違いがあることを知り、まとめている。 ②科学館の役割や場所について調べ、まとめている。
生徒B	・言葉でのやり取りは可能である。 ・社会生活に必要なきまりについてしっかりと理解している。	①身の回りの生物には色や形や大きさに違いがあることを知る。 ②科学館の役割や場所について調べることができる。	①色や形や大きさに着目できるよう、教科書やいろいろな写真を提示する。 ②教師と一緒にインターネットを活用し、科学館の役割や場所を調べる。	①身の回りの生物には色や形や大きさに違いがあると知っている。 ②科学館の役割や場所について調べている。
生徒C	・興味がある活動には積極的に取り組むが、非常に飽きやすく、物に対するこだわりが強い。	①身の回りの生物には色に違いがあることを知る。 ②科学館の場所について	①色カードを準備し、同じ色が分かるように提示する。 ②大好きな乗り物である	①身の回りの生物には色に違いがあると知っている。 ②教師と一緒に科学館

	・乗り物に乗ることが好きである。	て興味をもって調べることができる。	地下鉄路線図を用いて場所について確認する。	の場所について確認することができる。
生徒D	・発語はあるが、発音は不明瞭である。絵カード等でのコミュニケーションが可能である。 ・感覚過敏がある。	①身の回りの生物を知る。 ②科学館について興味をもつことができる。	①紹介動画の生物をカードとして提示する。 ②科学館の紹介動画を見せながら、興味のあることを探る。	①身の回りの生物を知っている。 ②教師と一緒に科学館について知る。

(5) 指導過程

段階	学習活動	指導上の留意点 (・→児童生徒の活動 ○→教師の働き掛け ☆→評価)				準備物
		生徒A	生徒B	生徒C	生徒D	
導入 15分	1 あいさつ	・あいさつをする。	・あいさつをする。	・あいさつをする。	・あいさつをする。	学習活動カード ミニホワイトボード  自作の紹介動画 タブレット 色カード 生物のカード
	2 学習のながれを確認する。	・学習のながれを読む。	・学習のながれを読む。	・学習活動カードを黒板に貼る。	・手元のミニホワイトボードに学習活動カードを貼る。	
	3 自作の科学館紹介動画を見る。	○身の回りの生物の色、形、大きさなどに着目して見るよう話す。(T1) ・自作の紹介動画を視聴する。 ☆理科【知・技】	○身の回りの生物の色、形、大きさなどに着目して見るよう話す。(T1) ・自作の紹介動画を視聴する。 ☆理科【知・技】	・自作の紹介動画を視聴する。 ○落ち着いて視聴できるよう側で見守る。(T2) ☆理科【知・技】	・自作の紹介動画を視聴する。 ○落ち着いて視聴できるよう側で見守る。(T1) ☆理科【知・技】	
展開 25分	4 科学館の場所等を調べる。	・タブレット端末を使って場所や入場料金などを調べて、ワークシートに記入する。(T1) ・調べて分かったことを模造紙に記入していく。(T1) ☆社会【知・技】	・タブレット端末を使って場所について調べて、ワークシートに記入する。(T1) ・調べて分かったことを模造紙に記入していく。(T1) ☆社会【知・技】	・教師と一緒に模造紙の地図に科学館の場所に印をつける。(T2) ・科学館のホームページから学習動画を選んで見る。(T2) ☆社会【知・技】	・教師と一緒に模造紙の地図に科学館の場所に印をつける。(T2) ・科学館のホームページから学習動画を選んで見る。(T2) ☆社会【知・技】	ワークシート 模造紙(地図を貼ったもの)
		・調べて分かったことを発表する。	・調べて分かったことを発表する。	・調べて分かったことを発表する。	・調べて分かったことを発表する。	
終結 10分	5 振り返りを行う。	○ T2より称賛の声掛けをし、次時の学習の意欲につなげる				ホワイトボード

(6) 本時の評価規準

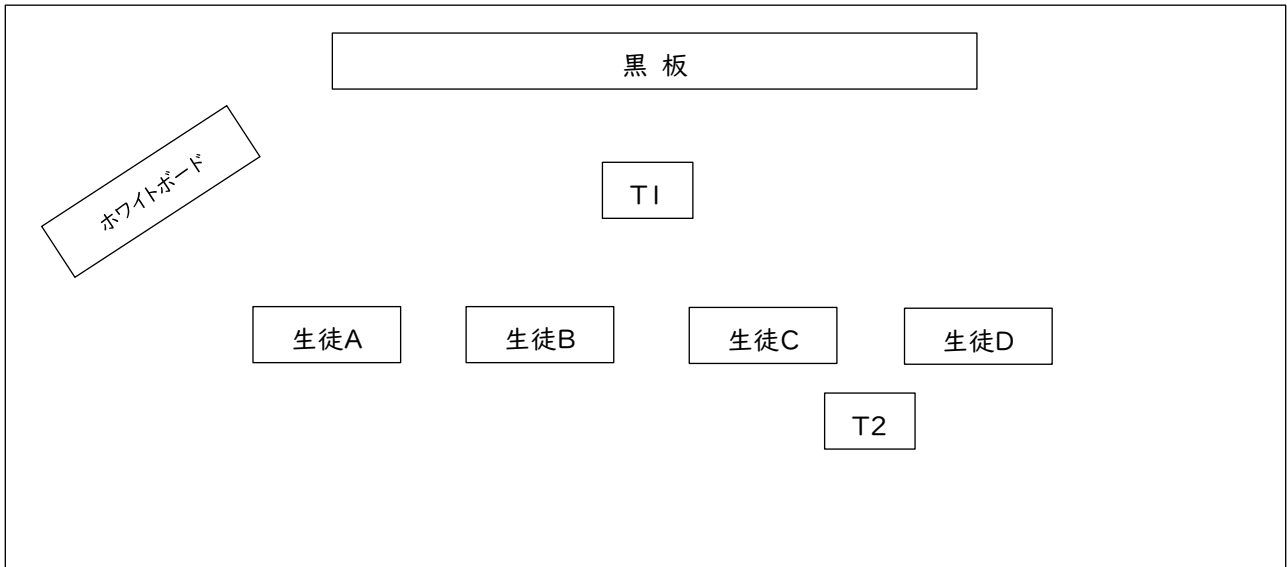
- ①【理科】身の回りの生物には色、形、大きさなど、姿に違いがあることを知っている。[知識・技能]  
②【社会】科学館について調べ、その役割や場所が分かっている。[知識・技能]

(7) 準備物

- ・教師：自作の紹介動画、学習活動カード、色カード、生物のカード、ミニホワイトボード、ワークシート、模造紙(地図を貼ったもの)
- ・生徒：タブレット端末

(8) その他

①場の設定



②ワークシート

レッツゴー科学館!(校外学習)

氏名 ( )

【調べて分かったことを書こう】

日時:

場所(住所):

入場料金:

その他:

写真(外観)

科学館

③模造紙(地図を貼ったもの)

レッツゴー科学館!  
(校外学習)

日時:

場所:

地図

科学館